

Ⅶ 調布市立学童クラブ・ユーフォー事業部門

第1 総括

平成30年度は、建設予定地の遺跡調査により工事が遅れていた「調布市立かみいしわら第1、第2学童クラブ」の開設と、調布市立若葉小学校ユーフォー及び調布市立第三小学校ユーフォーの移転を行った。また、平成31年4月からスタートする「調布市立あおば学童クラブ」の開設準備を行った。

1 学童クラブ

平成27年度からなないろ学童クラブは保留児解消のため、なないろ第1学童クラブ、第2学童クラブに分かれ、定員70人をそれぞれの定員を50人、40人とし、両学童クラブで定員を90人と増やした。また、平成30年度からは第三小学校学童クラブについても、定員を60人から90人に増やした。

従前より受託していた多摩川小学校学童クラブとわかば学童クラブを含め、学童クラブの運営は6施設となった。

なお、平成31年度からあおば学童クラブが新たに開設した。

2 放課後子供教室事業「ユーフォー」

東部地区2か所（緑ヶ丘小学校、若葉小学校）、西部地区5か所（石原小学校、第三小学校、多摩川小学校、飛田給小学校、富士見台小学校）の放課後子供教室事業ユーフォーを滞りなく運営することができた。

第三小学校学童クラブでの保留児童解消のため、第三小学校ユーフォーは、学校の教室の中に移転し運営を行ったが、かみいしわら学童クラブの平成31年1月の開設に伴い、ユーフォーも従前の学校内の施設に移動し、1・2階で運営を行った。

また、若葉小学校ユーフォーが教室不足により第四中学校のグラウンドに新たに建設された施設に移転し、初めて小学校内以外のユーフォーとして誕生した。

第2 経営実績

1 定員

(1) 調布市立学童クラブ

施設名	定員(人)
なないろ第1学童クラブ	50
なないろ第2学童クラブ	40
わかば学童クラブ	70
第三小学校学童クラブ(かみいしわら第1・第2学童クラブ)	90
多摩川小学校学童クラブ	60

(2) 放課後子供教室事業「ユーフォー」

全在籍児童対象の事業で、登録制のため定員はない。

第3 事業所別事業報告

1 調布市立学童クラブ

(1) 重点事項への取組

ア 移転、新規開設が予定されている学童クラブへの準備対応

第三小学校学童クラブは平成30年4月に移転が予定されていたが、建設現場から遺跡が発見されたことにより建設が遅延した。調布市と遅延への対応策を協議し、第三小学校学童クラブで新規開設施設の定員90人を受け入れることとなった。そのため、施設2階の第三小学校ユーフォーは学校の教室に移動し、第三小学校学童クラブは施設1・2階を利用し開設した。

その後、遺跡調査は終了し、建設が再開され平成31年1月15日からかみいしわら第1・第2学童クラブとして開設した。

わかば第2学童クラブ（仮称）は、あおば学童クラブと名称され、平成31年4月1日に向けて開設準備を行った。

イ 安心、安全な学童クラブを目指して

ケガによる児童の受診ケースに関しては、昨年度が8件であったことに対し、本年度は16件であった。受診件数の半数以上は単独事故であるが、育成中の児童の見守りについて、今後も引き続き、細心の注意を払いながらさらに強化していきたい。

一人ひとりの登・降室時のルートを児童と一緒に確認し、職員による指導や巡回を行った。また、不審者情報が入った際には、巡回を強化し行うことで、児童の安全確保を図った。

食物アレルギーに関しては「食物アレルギー対応マニュアル」により適切に対応した。また、調布市では食物アレルギー物質に含まれるピーナッツの提供を、平成31年度より除去することになったことを確認した。

ウ 学童クラブ入会希望者の増加への対応

指数の高い低学年（1・2年生）児が多くを占めるが、第三小学校学童クラブの定員増加により、中・高学年（3年生以上）児の受け入れ幅が広がった。また、中・高学年児の育成においては、それぞれの児童が持つ個性と能力が発揮できるような役割を児童と共に考え、学童クラブの一員として過ごせるよう取り組んだ。

エ 各学童クラブ間の連携

本年度は、わかば学童クラブ正規職員に欠員が生じたため、全施設より応援職員を派遣し、育成に支障がきたさないよう施設間で調整し連携を図った。

一方、このことに代えたため、計画していた交換実習は実施しなかった。

(2) 実績報告

ア 児童の受入れ状況

月別の児童受入れ状況は次のとおりである。

なないろ第1学童クラブ

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
受託児	1年生	16	16	11	11	11	11	11	11	10	10	10	139
	2年生	22	22	22	22	21	21	20	19	19	19	19	245
	3年生	11	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10	126
	4年生	0	0	1	1	1	2	2	2	3	3	3	21
	5年生	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	18
	6年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	50	50	46	46	45	46	45	44	45	44	44	44

※障がい児：3年生に1人 5年生に1人

なないろ第2学童クラブ

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
受託児	1年生	17	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	214
	2年生	14	14	14	13	13	13	13	13	13	13	12	158
	3年生	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
	4年生	1	1	4	5	5	5	5	5	5	5	5	51
	5年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	40	40	44	44	44	44	44	44	44	44	44	43

※障がい児：3年生に1人

わかば学童クラブ

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
受託児	1年生	26	25	26	25	25	25	25	25	25	25	25	302
	2年生	21	21	21	21	20	20	20	20	19	19	17	238
	3年生	22	22	22	22	24	24	24	25	25	25	26	286
	4年生	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	7
	5年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	70	69	70	69	70	70	70	70	69	69	70	67

※障がい児：4年生に1人（10月に退会）

※要配慮児：1年生に1人 2年生に1人 3年生に2人

第三小学校学童クラブ

(単位:人)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
受託児	1年生	23	23	24	24	24	24	23	23	23	23			234
	2年生	33	34	34	34	34	34	34	34	34	34			339
	3年生	26	27	27	27	27	27	28	28	28	28			273
	4年生	2	2	2	2	2	2	2	1	0	0			15
	5年生	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2			19
	6年生	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			10
計		86	89	90	90	90	90	90	89	88	88			890

※障がい児：6年生に1人

※要配慮児童：1年生に1人 2年生に1人

かみいしわら第1学童クラブ (平成31年1月15日開設)

(単位:人)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
受託児	1年生										23	23	22	68
	2年生										0	0	0	0
	3年生										28	28	28	84
	4年生										0	0	0	0
	5年生										2	2	2	6
	6年生										0	0	0	0
計											53	53	52	158

※要配慮児童：1年生に1人

かみいしわら第2学童クラブ (平成31年1月15日開設)

(単位:人)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
受託児	1年生										0	0	0	0
	2年生										34	34	34	102
	3年生										0	0	0	0
	4年生										0	0	0	0
	5年生										0	0	0	0
	6年生										1	1	1	1
計											35	35	35	105

※障がい児：6年生に1人

※要配慮児童：2年生に1人

多摩川小学校学童クラブ

(単位:人)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
受託児	1年生	28	28	28	28	28	28	27	27	27	27	27	27	330
	2年生	15	15	15	15	15	15	15	15	14	14	14	14	173
	3年生	17	17	17	17	17	17	18	18	19	18	15	15	205
	4年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3
	5年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	56	55	711

※障がい児：2年生に1人

※要配慮児童：2年生に1人 (1月末に退会)

イ 児童の健康報告

(ア) 感染症

日々、消毒や手洗い、うがいの励行、部屋の換気等をしていたものの、児童の生活範囲は、学童クラブのみではないこともあり、流行を防ぐことはできなかった。本年度も各学校にて学年閉鎖や学級閉鎖が流行していた。

(単位：人)

	インフルエンザ [※] A型	インフルエンザ [※] B型	その他の感染症
なないろ第1学童クラブ	15	0	2
なないろ第2学童クラブ	22	0	2
わかば学童クラブ	12	3	0
第三小学校学童クラブ	18	0	11
多摩川小学校学童クラブ	17	0	4

※その他の感染症には、マイコプラズマ肺炎・水疱瘡・おたふくかぜ・溶連菌感染症

・アデノウイルス・ロタウイルス・プール熱・流行性結膜炎・頭ジラミ

(イ) 受診ケース

なないろ第1学童クラブ

医療機関に受診するケースは、なかった。

なないろ第二学童クラブ

月 日	学年・性別	項 目	受 診 先
5月24日	1年生女兒	プレイルームで遊んでいる際に他児童と衝突し、前歯が痛いとの訴えがあり受診するが、乳歯の生えかわり時期だった。	歯科受診
10月12日	1年生男児	降室道中、自宅付近で足をつまづき転倒した。その衝撃で右肘にヒビが入った。	整形外科

わかば学童クラブ

月 日	学年・性別	項 目	受 診 先
6月25日	3年生男児	塩ビのポケモンを、他児が収納籠にめがけて投げ、跳ね返って本児の右眉上に当たり裂傷になった。	整形外科
11月5日	2年生男児	屋外で鬼ごっこをしていた他児の額が本児の前歯に当たり、歯茎から血がにじんだ。	歯科受診
11月13日	3年生女兒	集団降室でしゃがんでいた本児の左肩下にピアノ上にあつた段ボールと塩ビ製のボードが落ちて当たり、打撲と診断された。	整形外科

第三小学校学童クラブ

月 日	学年・性別	項 目	受 診 先
4月23日	1年生男児	友達が右手人差し指を手の甲側に捻ってしまった。翌日、痛みが引かず受診したところ、右手人差し指の骨折だった。	整形外科
9月19日	1年生男児	正面から上級生と衝突。反動で転倒し、顔面から床にぶつける。上前歯と歯茎から出血し、受診した。	歯科医院
10月17日	3年生男児	鉄棒で遊んでいた際に左手が外れ左脇腹を打つ。数日が経ち痛みが強くなったため受診したところ、左脇腹の骨折だった。	整形外科
1月21日	1年生女児	おやつ中に左下の奥歯が欠け、出血もあったため、口を漱ぎ止血をした。	受診なし
2月22日	2年生男児	縄跳びを跳んでいた際に引っ掛かり、その縄が左目蓋に当たった。	眼科

多摩川小学校学童クラブ

月 日	学年・性別	項 目	受 診 先
4月16日	2年生女児	のぼり棒から手を滑らせて落ちた。顔を打ち、大量の鼻血がでた。	整形脳神経外科
4月26日	2年生女児	鉄棒に座ろうとしてバランスを崩し、前方へ落ち、左肘を打撲。	整形脳神経外科
7月30日	3年生男児	理科室にて他児とふざけている際に、ガラス戸棚に肘が当たり、ガラスが割れてしまい、左肘を切った。	整形外科
8月24日	1年生女児	中当てでボールを避ける際に、友達の足に引っかかり転倒し、右足を捻挫。	整形外科
9月11日	3年生男児	サッカーのキーパーをしている際に、誤ってゴールポストを蹴ってしまい、左足を打撲。	整形外科
2月13日	3年生女児	鬼ごっこをしている際に転倒し、地面に額をぶつけた。	整形外科

ウ 年間行事報告

(ア) 1年間に実施した共通の行事は、次のとおりである。

行事名	学童別開催月	内 容
親子交流会	なないろ学童 (8月) 第三小学童 (6月) 多摩川小学童 (6月)	各学童で親子交流会を行った。なないろ学童は、水族館をテーマに色々なゲームを親子で楽しみ交流をした。第三小学童と多摩川小学童は、小学校の体育館にて、親子で一緒にスポーツや集団ゲームを交えて交流をした。
遠足	なないろ学童 (10月) わかば学童 (11月) 第三小学童 (10月・3月) 多摩川小学童 (8月・10月・3月)	なないろ学童は「食」をテーマに芋掘りへ「黒川農園」へ親子遠足を行った。 わかば学童は、調布市のバスを借り、「しながわ水族館」に行った。 第三小学童は、10月に徒歩で「野川公園」へ、3月に電車で「国営昭和記念公園」に行った。 多摩川小学童は、8月に調布市のバスを借り、「多摩六都科学館」へ、10月と3月に徒歩で「多摩川河川敷」へ行った。

保護者会	なないろ学童（5・3月） わかば学童（5・7・2月） 第三小学童（4・2月） 多摩川小学童（4・10・3月）	各施設ともに、保護者会では日頃の児童の様子や夏休みなどの長期休業中の過ごし方等を保護者に伝えた。また、保護者からも家庭での様子や要望等を聞き、情報交換をした。
学童クラブ 交流事業	ドッジビー大会（12月）	調布市総合体育館で行われ、調布市内の学童全施設が参加した。わかば学童が準優勝し、なないろ学童がプレ優勝の成績を収めた。各施設、日々の練習と試合を通して、チームワークの大切さを学んだ。
児童館交流 事業	サッカー大会（1月）	調布市の児童館交流事業としてのサッカー大会がアミノバイタルにて開催された。各学童クラブでは、大会に向けて練習を行い、事業を通じて、仲間と共に努力することや諦めないことを学ぶことができた。
誕生会	全施設毎月実施	個々の児童の誕生月に、参加児童と職員全員でお祝いする誕生会を毎月行った。誕生会では、その児童が生まれてきた事を喜び、誕生児が主役になる内容や生まれること生きることに関係した内容など工夫した企画を実施した。
防犯・防火 訓練	全施設年6回実施	年間の計画を元に、各施設において防災訓練を実施した。なお、ユーフォーと併設している第三小学童と多摩川小学童は、ユーフォーと合同で実施し、緊急時に協力し安全に避難できるよう訓練を行った。 防犯訓練は、各施設の環境に応じて適切な対応ができるよう、施設内訓練又は調布警察署職員による指導を受けて実施した。
進級式 お楽しみ会	全施設3月実施	1年間の集大成とし、年間の思い出を発表したり、児童が年間を通して身につけたことや、児童の好きな事を発表したりする場を設けた。なないろ学童、わかば学童、第三小学童（かみいしわら学童）は、保護者も参加。多摩川小学童は、児童のみで実施した。

(イ) 1年間に実施した各学童クラブで行った主な行事は、以下のとおりである。

学童名	行事名	内容
なないろ学童クラブ (第1・第2合同)	自慢絵コンテスト（6月）	色々なテーマの部門に自由に参加でき、最後には投票を行うコンテスト。一つ一つの個性豊かな作品が並び、とてもにぎやかな育成室となった。
	夏のお楽しみ会（8月）	水族館をテーマにした4つのゲームコーナーを作り、なないろ保育園幼児と保護者を招き交流をした。
わかば学童クラブ	ケアセンター夏まつり（7月）	隣接した高齢福祉施設の夏祭りに招待され、輪投げ、ヨーヨー釣り、盆踊りを楽しみ、歌のお返しをして交流を楽しんだ。
	わかば学童商店街（8月）	児童が手芸、雑貨、おもちゃ屋、ゲーム屋の4店に分かれ、商品のやり取りをして楽しんだ。

第三小学校学童クラブ	秋祭り 大規模災害引渡し訓練（8月）	お面釣り、ビーボーリング、射的、くじ屋、ローリングコインタワー、輪投げコーナーを作り、各店舗3年生を中心に一生懸命準備を進めた。当日は、店番としてもお客さんとしても楽しむ姿がみられた。なお、行事終了後には引き渡し訓練を行った。
	クリスマス会（12月）	「サンタさんと答えを合わせよう」というゲームとクリスマスカードの工作を行った。児童はケーキとオードブル、シャンメリーにとっても喜びにぎやかな会となった。
多摩川小学校学童クラブ	夏祭り（7月）	児童が班ごとにお店を出店し、各コーナーを回って楽しんだ。
	クリスマス会（12月）	ビンゴ大会を行い、父母会から頂いた文具セットの景品を貰った。

エ 職員研修体系

体系		内容 (下記の数字は、「オ 研修の状況」の「No」を表している。)	回数
一般研修	現任研修	1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16、17、18、19、20、21 22	22
	主任研修		0
	管理職研修		0
専門研修	児童指導員研修	23	1
研修参加合計			23

オ 職員研修の状況

研修の参加状況は、次のとおりである。

(単位：人)

No	月日	内容	主催	人数	延べ
1	4月17日	公的機関の職員が子どもに関わる際の基礎知識	児童青少年課 研修委員会	6	6
2	4月18日	エビベン投与シミュレーション研修	調布市教育委員会教育 部学務課	4	4
3	4月25日	エビベン投与シミュレーション研修	調布市子ども生活部	1	1
4	5月21日	調布市こども発達センター療育見学会	調布市こども発達センター	1	1
5	5月30日	発達障害の特徴と気になる子どもへの対応について	児童青少年課 研修委員会	6	6
6	6月25日	調布市子ども発達センター療育見学会	子ども発達センター	1	1
7	7月3日	他機関との連携	児童青少年課 研修委員会	9	9
8	7月4日	普通救命講習	東京防災救急協会	4	4

9	7月13日	アレルギー講演会	東京都多摩府中保健所	4	4
10	9月11日	一人ひとりに合ったコミュニケーション対応、子どもの意見を引き出す方法	児童青少年課 研修委員会	4	4
11	9月12日	「キレル」子への対応と支援について	調布市児童青少年課	1	1
12	9月19日	知的障害を含む発達障害の特徴	調布市児童青少年課	1	1
13	10月3日	平成30年度第2回エビペン投与シミュレーション研修	児童青少年課 研修委員会	6	6
14	10月5日	平成30年度東京都放課後子ども総合プラン スタッフ研修	東京都教育庁	1	1
15	10月16日	怒り、イライラをコントロールして感情を味方にしよう！～アンガーマネジメント、やってみませんか？～	児童青少年課 研修委員会	3	3
16	11月20日	食物アレルギーの食事と管理	社会福祉法人東京かたばみ会 法人主任等連絡調整会	3	3
17	11月20日	伝承遊び・新しい遊び	児童青少年課 研修委員会	2	2
18	12月3日	誰でも楽しめるゲーム工夫	調布市教育委員会	1	1
19	12月7日	働きやすい元気な職場づくりを目指して	調布市子ども生活部児童青少年課	2	2
20	1月11日	アンガーマネジメントについて学び、感情をこんとろ	調布市子ども生活部児童青少年課	5	5
21	1月24日	アンガーマネジメント	東京都教育庁地域教育支援部	3	3
21	3月18日	アレルギー対応マニュアル研修	調布市子ども生活部児童青少年課	8	8
23	①9月4日・5日6日・7日 ②1月29日・30日31日・2月1日	放課後児童支援員認定資格取得研修 学童クラブ運営において必須となる「放課後児童支援員認定資格」取得に当たり、放課後児童支援員の理解等について学ぶ	東京都福祉保健局少子社会対策部	5	8
研修参加人数合計 81人 延べ参加人数合計 84人					

2 放課後子供教室事業「ユーフォー」

(1) 重点事項への取組

ア 移転・拡張したユーフォーへの準備対応

(ア) 若葉小学校ユーフォーの移転

若葉小学校の生徒数の増加に伴い、昨年度の12月15日（土）に、若葉小学校ユーフォーが市内で初めて小学校の敷地から出て、道路を挟んで隣接

する第四中学校の敷地内に移転した。

移転後は児童の行き来に T 字路の横断歩道を跨ぐことから、児童の交通安全を確保するためにユーフォーの職員体制を日に 3 人体制から 4 人体制に増員すると共に、放課後から事業終了後暫くはシルバー人材センターからの派遣員を横断歩道に配置して、現在に至っている。

また、職員間の連絡用として従前から使用してきたトランシーバーでは、移転後のユーフォーと若葉小学校の校庭間の通信ができないことから、より通信距離の長いトランシーバーを用意し、児童の安全を図っている。

(イ) 第三小学校ユーフォーの拡張

旧第三小学校学童クラブの受け入れ児童数の増加（定員 60 人から 90 人）に伴い、第三小学校ユーフォーは従前の学童クラブ棟の 2 階を学童クラブに渡し、第三小学校の空き教室を借りてユーフォーの運営を行った。

平成 31 年 1 月 15 日（火）に旧第三小学校学童クラブ（現かみいしわら学童クラブ）の移転に伴い、旧学童クラブ棟の 1 階・2 階をユーフォーとして使用し、運営を行った。

拡張後は、旧学童クラブ棟の 1 階・2 階の両フロアでユーフォー事業を運営するため、1 日の職員体制を 3 人から 4 人に増員し、児童が安全に過ごせるように配慮した。

イ 安心・安全なユーフォーを目指して

(ア) 新一年生が慣れない年度当初や受け入れ児童数が大幅に増加する学校の保護者会時や学校行事時、夏季休業の学校プール実施時等に安全確保のための増員を図り、計画通り実施した。

(イ) 児童のケガを未然に防ぐ目標に関しては、一昨年度に受診を伴うケガの発生件数がユーフォー 7 施設を通じて 3 件であったが、昨年度は 8 件に増加した。8 件中、他児が絡まない単独のケガが 4 件であったが、今後はヒヤリハットの専用用紙を新たに用い、ケガの振り返りをミーティング時に確実にを行う方法を採用してケガの発生の軽減に努めることとした。

(ウ) 食物アレルギーへの対応に関しては、土曜日や三季休業中に児童がユーフォー内でお弁当を摂ることから、職員全員が 3 年に 1 回は市の悉皆研修であるアレルギー研修を受講することとし、加えてアナフィラキシー対応策としてエピペンの使用方法を習得する自校研修を実施した。

(2) 実績報告

ア 児童の受入れ状況

月別の各ユーフォーの児童受入れ状況は次のとおりである。

(単位：人)

	緑ヶ丘	若葉	石原	第三	多摩川	飛田給	富士見台	合計
4月	696	943	397	825	726	1,008	659	5,254
5月	775	839	350	808	804	983	641	5,200
6月	783	859	377	935	912	1,171	790	5,827
7月	931	1,127	502	823	988	975	711	6,057
8月	365	599	282	503	557	667	408	3,381
9月	559	565	333	608	610	651	459	3,785
10月	720	658	326	676	841	836	590	4,647
11月	598	509	349	660	695	771	549	4,131
12月	530	485	325	522	702	718	467	3,749
1月	488	287	226	442	429	520	397	2,789
2月	505	434	333	490	632	691	498	3,583
3月	527	396	253	531	571	769	448	3,495
合計	7,477	7,701	4,053	7,823	8,467	9,760	6,617	51,898

イ 児童の健康報告

受診ケース

ユーフォー名	月 日	学年・性別	項 目	受診先
若葉小	4月18日	1年生男児	ドッジボールで遊んでいて単独で飛び跳ねていた際に右足首をひねり捻挫した。	整形外科
若葉小	4月26日	3年生男児	サッカーをしていて左足首をひねった。帰宅後に痛みを訴え左足首の剥離骨折の診断があった。	整形外科
第三小	8月17日	4年生男児	サッカーをしていて足を滑らせて転倒。その際手で庇おうとして左手首を骨折（ひび）。	整形外科
若葉小	8月22日	2年生男児	プレイルーム内で追いかけてことなり、逃げた児童の鉛筆が立ちふさがった児童の首に当たった。	整形外科
第三小	8月28日	4年生男児	体育館でドッジビーをしていて右足をひねり、帰宅後の受診で骨折（ひび）の診断があった。	整形外科
第三小	10月16日	1年生女児	校庭で一輪車で遊んでいて転倒。鼻の下を地面にぶつけ擦過傷を負った。	形成外科
第三小	11月21日	1年生男児	校庭で単独で歩いていて転倒。その際に庇った左肘を骨折（ひび）	整形外科
緑ヶ丘小	3月26日	2年生男児	鉄棒で、反動をつけてなるべく遠くに着地しようとして着地の際に転倒し、左肘中間骨折。	整形外科

ウ 年間行事報告

一年間に実施した行事は下記の表のとおりである。

項 目	内 容
工作の会	<p>工作の会は、多摩川小（12回）、第三小（17回）、富士見台小（10回）、飛田給小（17回）、石原小（7回）、若葉小（3回）、緑ヶ丘小（5回）で実施した。</p> <p>内容は季節に合わせたこいのぼり、七夕飾り、クリスマス、ハロウィン、ひな祭り等の工作や飾りつけの他、マイノートやアイロンビーズの飾り、動くおもちゃ、また毛糸のポンポンやミサンガなどの手芸工作を行った。特に夏休み期間は、ヨーヨー、ストロー工作、もこもこ人形、ブローチ、ぶんぶんごま、ぱっちゃんがる、うちわ、組みひも、プラバン等、多岐にわたる工作を実施した。</p> <p>活動の名称も工作の会の他、月間・週刊イベント、土曜日工作や夏休み工作と銘打って実施した。</p>
学童クラブとの交流会	<p>学童クラブと同一敷地内で開設しているユーフオー(学童・ユーフオー一体型)および学童クラブとユーフオーが近接している地域は、学童クラブとユーフオーで「交流会」として実施した他、日常的にプレイルームや小学校校庭でドッジボール・大縄・ドッジビー・木ゴマなどの遊びを通して交流を図った。</p>
児童館との交流会 (出張児童館)	<p>富士見台小（1回）、石原小（2回）、飛田給小（1回）、若葉小（2回）、緑ヶ丘小（3回）で実施した。児童館との交流会では、小学校校庭や体育館でのドッジビーや野球、キックベースの他、スライムづくりの工作や、児童館職員から昔遊びを教えてもらう企画も実施している。</p>
避難訓練	<p>地震、火災を想定して各年間1回ずつ訓練を行った。児童も参加し、校庭に避難し、身の安全を確保した。地震想定時は防災頭巾をかぶった。避難終了後、参加児童に避難するときに大切な約束事を伝えた。</p>
不審者対応訓練	<p>調布警察署員、調布市総合防災課の職員を講師とし、不審者対応の基礎知識を学ぶとともに、不審者侵入を想定したシミュレーションを行った。新規採用職員に関しては、訓練を実施するユーフオーに研修に出向いた。</p>
食物アレルギー自校研修	<p>アナフィラキシー発症時と新規発症を想定し、エピソードトレーナーを使用したシミュレーショントレーニングを行った。</p>
ユーフオーボランティアイベント	<p>近隣の方々がボランティア登録をし、その指導で「工作」・「お話の会」・「将棋教室」、バドミントンやミニテニスなどの「スポーツ教室」を実施し、コンサートも開催した。児童の参加人数が多いイベントであった。</p>
各ユーフオーでの工夫	<p>各ユーフオーでは、実施する工作や招聘するユーフオーボランティアによるイベントを工夫した他、ユーフオー職員がコマ回し大会、豆つかみ大会、けん玉検定、ビンゴ大会、シャボン玉遊びを率先して実施した。</p>

エ 職員研修体系

体 系		内 容 (下記の数字は、「オ 研修の状況」の「No」を表している。)	回数
一般研修	現任研修	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13,	13
	主任研修		0
	管理職研修		0
専門研修	児童指導員研修		0
研修参加合計			13

オ 職員研修の状況

研修の参加状況は、次のとおりである。

(単位：人)

No	月 日	内 容	主 催	人数	延べ
1	4月18日 ・10月3日	エピペン投与シミュレーション 研修	調布市教育委員会教育 部学務課	20 ・14	34
2	4月17日	公的機関の職員が子どもに関わ る際の基礎知識	調布市子ども生活部児 童青少年課	4	4
3	5月19日 ・7月4日	普通救命救急講習会	東京防災救急協会	1 ・17	18
4	5月23日	上級救命救急講習会（再講習）	東京防災救急協会	1	1
5	5月30日	発達障害の特徴と気になる子ど もへの対応について	調布市子ども生活部児 童青少年課	12	12
6	8月17日 ・9月15日	ぜん息・食物アレルギー緊急時 対応研修	調布市子ども生活部児 童青少年課	5 ・3	8
7	9月11日・ 2月8日	一人ひとりに合ったコミュニケ ーション方法、子供の意見を引 き出す方法	調布市子ども生活部児 童青少年課	6 ・3	9
8	9月19日	知的障害を含む発達障害の特徴	調布市子ども生活部児 童青少年課	3	3
9	10月5日	放課後に関わるおとなの役割	東京都教育庁地域教育 支援部生涯学習課	6	6
10	10月16日 ・1月11日	怒り、イライラをコントロール して、感情を味方にしよう！	調布市子ども生活部児 童青少年課	6 ・5	11
11	1月24日	アンガーマネジメント	東京都教育庁地域教育 支援部生涯学習課	6	6
12	3月7日	野外遊びを楽しむ	調布市子ども生活部児 童青少年課	1	1
13	3月18日	アレルギー対応マニュアルの説 明会について	調布市子ども生活部児 童青少年課	8	8
研修参加人数合計121人、延べ参加人数合計121人					